

# 西大和つうしん

2015年 9月号  
No.399



燕岳から槍ヶ岳へ  
2015年8月1日  
奈良県勤労者山岳連盟  
西大和山の会

# 西大和つうしん

第399号(2015年9月号)

## 【目次】

9月度山行計画.....	1
9月度・10月度カレンダー.....	3
山行・行事等参加メモ.....	4
<b>山行報告</b>	
・例会山行 《7月19日》 湖東の山 伊吹山(勝尾).....	5
・教育山行 《7月25日》 大峰の山 岩屋峰(亀井・船江)	6
・訓練山行 《7月26日》 京都大原 金比羅山<Y懸尾根>(藤本)	8
・例会山行 《7月31日~8月3日》 北アルプス 燕岳~槍ヶ岳(亀井・橋本)	9
・例会山行 《8月8日~9日》 四国の山 塔丸・剣山(田中初・村田)	12
室内例会だより(7/29).....	14

## 9月度例会山行計画

~搜索の訓練を通じて、地図読みとルートファインディングの実践を~  
例会山行1 奈良県連主催・広域搜索訓練

◆9月6日(日)◆搜索フィールド:百貝岳(吉野・青根ヶ峰の南西部)付近

~360度の大大パノラマを楽しみに。女人大峰へ~

女性部山行

◆9月13日(日)◆大峰の山:《稲村ヶ岳》

[L:今井/緊連: ]

【集 合】上牧町役場前駐車場 AM6:30発

【コ ー ス】母公堂~法力峠~山上辻~稲村ヶ岳~大日山~山上辻~

法力峠~母公堂

【歩行時間;約6時間】

~一足早い紅葉の白山へ、テント泊で~

例会山行1(テント泊)

◆9月26日(土)~27日(日)◆北陸の山:白山《御前峰》(2,702m)

[L:藤本/緊連: ]

【集 合】王寺駅 AM6:00発 香芝IC=福井北IC=市ノ瀬

11:00着 市ノ瀬===(ヤトバス)===別当出合 11:30着

【コ ー ス】

■9月26日(土)別当出合(12:00出発)~(2:30)~甚之助避難小屋~(0:45)

~南竜馬場野営場(16:00着)[テント泊]

《歩行時間:3:15 / 停止時間(休憩等):0:45》

■9月27日(日)南竜馬場野営場(6:00出発)~[展望道](2:00)~白山室堂

～(0:40)～▲御前峰～(0:30)～白山室堂～[トンビ岩](1:10)  
 )～南竜馬場野営場[テント撤収:0:30]～(0:40)～甚之助避難  
 小屋～(1:30)～別当出合(14:30 着)  
 《歩行時間:6:30 / 休憩・テント撤収・昼食:2:00》  
 【復路】別当出合(15:00 発)===(ヤトルバ)===市ノ瀬(15:30  
 発)=往路と同じ・途中入浴と夕食=王寺(22:00)着

## 自主山行計画

### 自主山行

#### ◆8月23(日)～25(火)前夜発◆北アルプス《蝶ヶ岳～常念岳》

[L: 藤井/緊連: ]

#### 【コース】

8月22日(土) 新大阪 23:09(さわやか信州号)上高地 5:30 《8,400円》  
 8月23日(日) 上高地(1時間)明神(1時間)徳沢(3時間30分)長堀  
 山(1時間)蝶ヶ岳《蝶ヶ岳ヒュッテ泊》  
 【歩行時間6時間30分】  
 8月24日(月) 蝶ヶ岳ヒュッテ(4時間)常念岳(45分)常念小屋  
 《常念小屋泊》 【歩行時間4時間45分】  
 8月25日(火) 常念小屋(3時間)ヒエ平(タクシー)しゃくなげ荘(入浴)  
 【歩行時間3時間】  
 しゃくなげ荘 13:15(バス)JR穂高駅 13:30  
 穂高 13:52(JR)松本 松本 15:00(高速バス)大阪 20:42 《5,400円》

#### ～アルピニスト憧れの槍・穂高岩稜縦走～

### 自主山行 大キレット

#### ◆9月17日～21日◆北アルプス《槍ヶ岳～穂高岳》縦走

[L: 的場/緊連: ]

【集 合】9/17王寺駅集合出発 PM2:00

【コ ー ス】9/17 合掌の森 中尾キャンプ場(泊)

9/18 新穂高温泉(6:00)→白沢出合→槍平小屋(10:40)→  
 南岳小屋(15:00)(泊) 歩行時間:約8.5時間

9/19 南岳小屋(6:00)→A沢の科尔→北穂小屋→北穂山頂(9:40)  
 →最低科尔→涸沢岳→穂高岳山荘(12:00)(泊)  
 歩行時間:約6時間

9/20 穂高岳山荘(6:00)→奥穂高岳→前穂高岳(8:30)→岳沢  
 小屋(10:30)→天然クーラー→上高地バスターミナル  
 (12:30)=(タクシー)新穂高温泉 歩行時間:約6.5時間

南岳小屋(0263-35-7200) 穂高岳山荘(09078690045)  
 (上高地タクシー運営協議会:0263-95-2350)

## 西大和山の会 カレンダー

9 月			10 月		
1	火	県連理事会(19:30~)	1	木	
2	水	岩稜歩行訓練講習会	2	金	室内例会(PM7:30~)
3	木	県連ハイキングリーダー学校(座学)	3	土	
4	金		4	日	◆例会山行2加西アルプス(田中初)
5	土		5	月	
6	日	県連:広域搜索訓練	6	火	県連理事会(19:30~)
7	月		7	水	
8	火		8	木	
9	水		9	金	
10	木	県連ハイキングリーダー学校(座学)	10	土	県連ハイキングリーダー学校
11	金		11	日	◆例会山行1百里ヶ岳(勝尾)
12	土		12	月	
13	日	◆例会山行2稲村ヶ岳(今井)県連ハイキングリーダー学校(実山行)	13	火	
14	月		14	水	
15	火		15	木	
16	水		16	金	
17	木	9/17~21 自主山行 大キレット (的場)	17	土	
18	金		18	日	◆例会山行1釈迦ヶ岳(橋本)
19	土		19	月	
20	日		20	火	
21	月		21	水	『西大和つうしん』11月号原稿締切
22	火		22	木	
23	水		23	金	
24	木	『西大和つうしん』10月号原稿締切	24	土	
25	金	『西大和つうしん』10月号原稿締切	25	日	交流山行(藤本)
26	土	9/26~27◆例会1 白山(藤本)	26	月	
27	日		27	火	
28	月		28	水	室内例会(PM7:30~)
29	火		29	木	
30	水	室内例会(PM7:30~)	30	金	
			31	土	

## 山行・行事等参加メモ

入会順		8/22 室内例会	9/2 岩稜 歩行 訓練	9/6 県連 広域 搜索 訓練	9/13 稲村ヶ 岳	9/17~ 21 大キレ ット	9/26~ 27 白山	8/23~ 25 蝶 ヶ岳・ 常念 岳	10/4 加 西アル プス
1	(窪田)								
2	都築	○							○
3	藤井	○					○	○	○
4	(石田)								
5	多賀	○			○		△		
6	田中悦	○		○	○		○	○	○
7	島崎	○		○	○	○			○
8	田中初	○							○
9	村田	○							○
10	林								
11	辻	○		○			○		○
12	勝尾	○			○				○
13	藤本	○	○	○			○		
14	杉村	○		○	○				○
15	高橋								
16	玉越				○				
17	的場	○			○	○L			○
18	杉川	○		○			○		
19	阪口								
20	橋本	○					○		○
21	今井	○		○	○	○	○		○
22	亀高	○		○	○		○		
23	松浪							○	
24	亀井	○		○			○		
25	船江	○					○		
26	野路		○			△			
27	竹川	○		○			○		
28	森川								
	合計								

## 例会山行2 湖東の山《伊吹山》

- 【日 程】7月19日(日) 曇り時々雨  
【参加者】L辻・SL田中(悦)・藤井・多賀・島崎・的場・阪口・橋本  
・亀高・野路・勝尾(11名)  
【J-タイム】上野登山口(8:55)~1合目(9:30)~2合目(9:50)  
~3合目(10:22)~5合目(11:05)~6合目(11:  
20~12:00)~5合目(12:12)~3合目(12:30)  
2合目(13:15)~1合目(13:38)~登山口(14:  
35)

車窓から見た伊吹山は、山裾近くまで厚い雲に覆われ姿が見えなかった。お天気が良くないにもかかわらず、連休とあって登山客も多く、三の宮神社横の駐車場には次々と車が入って来ていた。上野登山口を出発し、1合目まで樹林帯を行く。2合目のスキー場のグレンデを登りながら後ろを振り向くと、近くは麓の田園風景から遠くは琵琶湖が望め、このまま晴れてくるのではと期待を抱いたが、期待に反してポツポツ雨が降り出し、3合目に着いた時には本降りの雨になった。蒸し暑い中、しかたなく雨具を着ける。5合目からは視界が開け、雲に覆われた山頂に向かって大勢の登山者が登っていくのが見える。私達はもう少し登って様子を見ることにし、6合目の避難小屋へ。この頃には雨も止み、避難小屋横で昼食を取った。山頂は相変わらず雲の中で見えない。

食事後、予定の時間より遅れている事もあり、リーダーの判断で次回に期待を残し、今回は下山することになった。



下山途中の林道で私が膝を痛め、皆さんにご心配をお掛けしました。特にリーダーには重いザックを持って頂き、本当に申し訳ありませんでした。これに懲りずに、これからもよろしくお願い致します。

(記：勝尾)

初級教育山行第 1 回  
テーマ：地図読みの実践

大峰の山：《岩屋峰》

【日 程】 7月25日（土）晴れ

【参加者】 L 藤本・SL 杉川・亀井・船江（計 4 名）

【コース】 かりがね駐車場(8:24)～龍泉寺(8:30/37)～かりがね橋東詰(8:44)～展望台(8:51/55)～▲大原山(9:34/42)～▲岩屋峰 1,334m〔昼食〕(10:56/11:51)～尾根間違い発覚地点(12:33)～正しい尾根に戻った地点(12:41/50)～▲大原山(13:04)～展望台(13:24)～P.893.3 三角点(13:27/29)～かりがね橋東詰分岐(13:31)～かりがね駐車場(13:35)

早朝からお迎え頂き、地図読み座学を経て、今日は洞川温泉からの実践。

龍泉寺を過ぎた川沿いに駐車し現地確認。過日の P896 が目前に見え、後方確認するもお寺さんしか見えない。「かりがね橋は？」橋は川に架かってるものと、下ばかり見ていると、上空に吊り橋が有るではないか！我が目を疑う。

出発準備をしていると、子供たちが大勢、森の中から小泉川を越えて現れた。大阪の小学生で林間学校との事。今から鮎のつかみ取りをするらしい。鮎に後ろ髪を引かれながら、大峰詣での修験者様たちのホウ貝に、背中を押され、境内から回り込んで「かりがね橋」を揺れながら渡り、登っていくと、洞川展望台があり、山上川や町並みを臨み、進んでいくと分岐。そのまま直進かと思いきや「コンパスで確認！」と、先輩の指示でロープの張られた方へ進入（このロープは子供たちの為のもの）。

東から東北東に登っていくと小ピーク、コルを経てなだらかな登り。暫くすると急登が始まり、「この急登は冬季アイゼンも効かない凍結道になる。」とのお話を聴きながら、又小ピーク、コルを繰り返し、なだらかになって東北方面へ登っていくと、岩屋峰に到着。やっと視界が開け昼食と休憩をたっぷり取り、女人禁制の山上ヶ岳等の説明を受け、緊張の連続の下山開始。

なだらかな下りは何とか分かったが、急下降が始まると足元と心の不安が重なって・・・先輩から「方向違うよ！！」と指摘され、ハッと我に返ってコンパスで修正。のつもりが未だ修正不足であった。（ここでもう一度コンパスを見るべきだった。）本来なら、来た道を帰るべきだが、西隣の稜線が本筋だと思うので、トラバース！！（無駄な体力を使わしてすみません。）（大原山で道迷い寸前だったのだ。下山の先頭はイヤダイヤダ！！）・・・心が折れそう。

朝登った見覚えのある道に合流。ここで先頭を Fun 様に替わってもらい、少々





余裕をもって確認しながら二番手を歩かせてもらった。帰りは四等三角点のP893.3を確認し北方向の旧道から小泉川を越え、駐車場へ直結した。

洞川温泉で心身共にリフレッシュして、商店街で丸々と太った美味しい子持ち鮎を食べ、沢山接待を受け、帰路に着く。

先輩方の優しい気持ち、無駄にしないよう地図読み頑張りたいと思います。有り難う御座いました。

(記：亀井)

★ ★ ★



西大和山の会に入会して1年。山用語や装備の知識もないまま、「登山してるやんワタシ♪」なんて生意気に思ってたのが「連れてっててもらってた」だけと思い知ることになる初級講座の実山行でした。

6月からの座学。「サンザドウテイ」って何ですかあ??基本的な質問から始まり、7月初旬に地図の出し方やコンパスの使い方を学んだ。

いざ実践の当日。車で現地駐車場に着くまでの行程の観察が出来ていなかった為、かりがね橋をくぐって

通過したことも気づかず車を降りた時の自分の位置すら分からなかった。かりがね橋を渡り地図どおりならまっすぐだが実は左だったり、傍にあるはずの4等三角点が見つからない。尾根が広すぎると方向を見失う。何度もコンパスを地図に正置し方向を確かめ、尾根の合流部分の地形も確かめながらなんとか岩屋峰に到着。往路で見た景色が復路の下山時には、いかに頭に残ってないか、同じ光景に見えないかを思い知る。降りる尾根を1本間違えたことに気づき、もとの尾根までトラバースで登り返すことになったが良い勉強になった。往路で見つからなかった三角点も復路では発見。鹿の角までも発見のお土産付き。我が家のガレージにフックとして活躍しております♪温泉で疲れを癒し、鮎の塩焼きの美味しかったこと!♪厳しさよりもご褒美いっぱい教育実山行でした。(記：船江)





岩稜歩行講習会 第1回

京都大原の山：《金毘羅山(Ｙ懸尾根)》

【日 程】7月26日(日) 晴れ

【講 師】中武佳史(奈良労山・奈良県連教育部長)

【参加者】L 藤本・SL 杉川・島崎・林・辻・勝尾・橋本・今井・亀井・船江(計10名)

夏から秋にかけてのアルプス山行参加者を主たる対象とした、岩稜帯登下降の実践講習会。山行における安全と、会員の技術・知識面でのステップアップのため、本年から始められた試みである。奈良県連教育部長の中武氏を講師としてお招きし、本会からはスタッフを含めて10名が参加した。

京都市地下鉄国際会館駅に集合後、バスで大原の花尻橋へ。しばらく歩いて江文神社に到着。ここで、今回の講習会の趣旨説明と全員の自己紹介を行う。続いて、神社から林道を少し登った登山口にて、簡単なロープワーク(プルジック)の説明と練習を行ってから、最初のグレンデに向かう。

①最初はフィクスロープに各自がプルジックで確保を行いながら空身で登る練習。慣れないためか、プルジック部分をを進めるのを忘れて登ってしまう受講者が多い。また、プルジックの結び方に不備があるため十分なトルクが得られない例も。これは即グラウンド・フォール(地上落下)につながるため、必ず確認が必要である。

②次に同じグレンデのラインを下降する練習。下る際のスタンス(足場の位置)は、肩越しに見るのが基本。そのためには上半身を岩から離す必要がある。脚に垂直に体重をかけることも重要。高度感のあるところではつつい岩にしがみついてしまいがちだが、そうするとスタンスが見えないのみならず、重力が斜めに足場にかかり、滑落の恐れが増大することを知らねばならないだろう。

③この後、今度はザックを背負って、実際の山行時の条件で、同じグレンデの登下降を練習。さらに、スタンスがやや見つけにくい部分を含む上部の岩場へと進み、同じく登下降を体験。最後はプルジックによる確保なしでやや簡単な岩稜を登る練習も行った。

講習終了後は京都駅近くで夕食を兼ねた反省会。心地よい疲労と充実感も手伝って盛会のうちに一日の予定を終了した。

参加者は、このような講習は全く初めてという会員から、すでにハイキングリーダー学校修了生を対象とした自主的訓練を経て、ある程度経験を積んだメンバーまでさまざまで、到達度もたがいに大きく異なっていたが、それぞれが自身の実力をチェックしつつ、自分なりの課題、目標を改めて意識することはできたように思われる。今年度は最初ということもあって、単発×2回の講習会となったが、来年度からは、教育部として、1年に3回程度、このような講習会を計画的に開催する予定である。多くの会員の積極的な参加を期待したい。(記：藤本)

夏山例会山行  
北アルプス《表銀座コース》

【日程】 7月31日(金)～8月3日(月)  
 【参加者】 L 藤井・SL 林・島崎・勝尾・的場・橋本・亀井  
 【J-タイム】 7月31日 曇り後晴れ  
 登山口(9:17)～第1ベンチ(10:00)～第2ベンチ  
 (10:30)～第3ベンチ(11:03)～富士見ベンチ 11:55  
 ～合戦小屋(12:45/13:17)～燕山荘 14:50/15:20  
 ～燕岳(16:00/16:10)～燕山荘(16:40)

中房温泉登山口でストレッチをし、登山届けを出して燕岳目指して出発。カエデヤコナラの樹林から、カラマツの樹林をジグザグに登ると、第1ベンチ。右手の下った所に水場の表示がある。どんどん登っていくと、荷揚げ用ケーブルの下を潜ると第2ベンチ。傾斜が増し登っていくと、丸太の置かれた広い広場が第3ベンチ。湿原 2.7Kmと燕山荘 2.8Kmの表示を過ぎ、丸太の梯子や階段を喘ぎながら登っていくと、富士見ベンチ。少し傾斜が緩み、展望が開けると合戦小屋。ここで美味しいスイカを頂き小休止。これで元気回復。

合戦ノ頭迄も急登。合戦ノ頭に着くと展望が開け、右側に数カ所の雨裂が有り、前方にキャンプ場から燕山荘が見え、ウサギ菊、エゾシオガマ、車百合等のお花を眺めながら、キャンプ場を過ぎると、突然視界が開け、北に燕岳、南西に槍ヶ岳、西には裏銀座の素晴らしい山々。

まずは燕山荘へザックをデポし燕岳への散歩。コマクサのお花畑を眺めながら、花崗岩砂礫の稜線歩き。奇怪な花崗岩塔の数々。今迄見たことのない世界が広がっている。朝からの疲れが一瞬にして吹っ飛んだ。

夕食時には素敵なアルペンホルンの演奏も聴けて、素敵な1日だった。  
 (記：亀井)



表銀座 燕山荘～ヒュッテ大槍 8月1日(土) 快晴  
 【J-タイム】 燕山荘(5:20)～為右衛門吊岩(6:25)～喜作レリーフ  
 (8:18)～大天井ヒュッテ(9:30/55)～赤岩岳(11:40)  
 ～ヒュッテ西岳(12:50)～水俣乗越(14:22)～ヒュッテ  
 大槍(16:55)

早朝4時過ぎに外へ出てビックリ。少し肌寒いが何と綺麗な雲海。暫し呆然。この雲海から朝日が昇るのを眺めながらの朝食。何と贅沢な時間。身支度を調べ雲海に水晶岳、鷲羽岳、双六岳、赤岳、富士山が雲の中、浮かんでいるのを、見ながら花崗岩砂礫を歩く。蛙岩も過ぎ、大天井岳を南西に見ながら歩いていくと、コマクサのお花畑、そして大下り。小林喜作のレリーフを過ぎクサリ場を通過した草むらで、鳥のような鳴き声があると、キョロキョロすると、1メートル程横に雷鳥の親鳥がいる。子供の声も聞こえ、三方から三羽の子雷鳥が親の所に駆け寄ってきた。こんな近くで雷鳥を見るなんてラッキー！！



チングルマの果穂も黒部ダムも見ながら大天井ヒュッテに着く。縦走路の開拓者、喜作新道を行く。貧乏沢のコルを過ぎP2643の西側を歩くと雪渓からの涼風が背中を押してくれる。

赤岩岳を過ぎると前方に、涸沢雪渓や、北穂高の山頂に山小屋が見え、雄大な景色を堪能しながら西岳山腹を巻くと、ヒュッテ西岳。これから西に進み、いよいよ東鎌尾根の悪場。

梯子、クサリ、梯子が続き、西側が切れ落ちた稜線を歩き、小ピーク、鉄梯子を下ると、水俣乗越。ここから急坂になり槍ヶ岳は随分近い。でも未だ未だヒュッテ大槍は見えない。長い長い梯子を下って又登ってピークに着く。鉄梯子とクサリ場を抜け、急な岩塊の道をジグザグに登る。さらに岩尾根に登ると、やっと人の声が聞こえてきた。山頂を少し下った所がヒュッテ大槍。



疲れたが、変化に富んだ良い山行でした。 (記：亀井)

【日 程】 8月2日(日) 晴れ～8月3(月) 晴れ

【コース】

《 槍ヶ岳 (3,180m)～ 上高地》

8月2日 ヒュッテ大槍(6:00)～槍ヶ岳山荘(7:10)～槍ヶ岳(7:40)～槍ヶ岳山荘(8:35)～天狗原分岐(11:30)～水俣乗越分岐(12:50)～槍沢ロッジ(14:05)

8月3日 槍沢ロッジ(5:50)～横尾(7:20)～徳澤園(10:10)～明神池～河童橋(11:30)

いよいよ「表銀座コース山行」も佳境に入ってきた。しかしながら昨日の長いコースに疲れもピークに達している。本日も雲一つない快晴！すぐそばに迫った槍ヶ岳「よーし、もう一頑張り」メンバー全員同じ思いであったと思う。

槍ヶ岳山荘までは岩場を歩いていくが、ちょうど日陰になり朝の心地よい風を感じながら気持ちよく歩けた。1時間ほどで槍ヶ岳山荘に到着。リュックは山荘にデポし、いよいよ槍ヶ岳穂先を目指す。遠くから見る垂直にかかる鉄梯子に緊張感を覚える。歩行ルートが目印がはっきり示されておりそのルートに従って進むと足場がしっかり確保でき危ないと思った箇所はなかった。最後に垂直にかかる31段の鉄梯子を登ると視界が360度開けた。

本当に素晴らしい快晴で遮るものが何一つない、昨日歩いてきた稜線、北アルプスの山々、遠くは、富士山、いまだに噴煙がはっきり見える御嶽山、機会があれば登ってみたい美しい山容の常念岳など見えるは見える！！何十回と登頂されている方が「こんなにきれいに見えるのは珍しい」と言いながらいろいろ山名を教えてくださいました。昨日の苦しくしんどかったことなどもうすっかり忘れていてる。山って不思議なものです。名残は尽きないがこれからの行程もあるので下る。怖がりの私は、慎重に慎重に後ろ向きで確実に下っていくが先輩の方々は、平気で前向きで下っている。岩稜訓練を受講しておいて本当によかった。感謝、感謝です。今朝の出発当初から槍の穂先下山まで人が少なく混雑する所もなく落ち着いて登下山できたことは、岩稜歩き初心者の私にとって本当によかったと思う。素晴らしい叙景を背に



日陰のない道をひたすら槍沢ロッジまで下るが途中雪渓歩きが出来き、変化のある登山道を下れた。

お天気に恵まれた4日間の山行だったが、今年の異常な気象で陽射しが強く、高山の稜線歩きではあったがすごく暑かった。本当に熱中症対策を考えないと思った山行でもあった。

小屋泊まり3日間の山行は初体験で色々不安だったが、皆さんと一緒に踏破出来たことは私の大きな糧となった。本当に有難うございました。

(記：橋本)

## 例会山行 2 四国の山《塔丸》

- 【日 程】 8月8日 晴れ後雨  
【参加者】 L田中悦・SL藤本・藤井・島崎・田中初・村田・杉村・玉越・杉川・今井・松浪・船江  
【コース】 ラ・フォーレつるぎ山（11：58）～〔停滞〕（12：00/04）～登山口（12：06）～〔休憩〕（12：43/50）～〔休憩〕（13：31/37）～塔丸（14：00/10）～登山口（15：32）～ラ・フォーレつるぎ山（15：37）

5時間余りで、夫婦池のほとりに建つラ・フォーレつるぎ山に到着。全員カレーライスのお昼食を取り、国道を渡った所の登山口より40分程緩やかな自然林の中を行く。

尾根道に出ると木々も少なくなり一面笹原が広がっていて白い岩壁の遙か向うに塔丸、そのまた遠くに三嶺が見え、左側には剣山・次郎笈の山並みが見え感激。

時おり吹く風が心地よく、シコクフウロウ、オトギリソウが咲くアップダウンの道を快適に行くと、眼下に名頃ダムが見える塔丸に着く。登山者も少なく静かな山頂だった。三嶺山頂方面が、雨雲に覆われ雷が遠くに聞こえてきたので来た道を足早に下山する。

ラ・フォーレつるぎ山に戻って程なくして雨が降り出し10分程遅かったらず濡れになっていたところだった。

お風呂で汗を流し、冷たいビールとウーロン茶で喉を潤し、美味しい御鍋とあまごの唐揚げを頂き、大満足の日でした。

今回、ラ・フォーレつるぎ山の支配人から教えてもらった「おどる宝島とくしま旅行券」を利用させていただいたので宿泊料金等が半額になりました。こんなお得な券、来年もあるといいですね。

（記：田中初）



## 剣山

【日 程】 8月9日

【J-タイム】見ノ越駐車場(7:34)～劔神社(7:38/46)～リフト下トンネル(7:58)～休憩地点(8:02/05)～西島神社(8:30/36)～西島駅(8:42/56)～刀掛ノ松(9:12)～キレンゲショウマ群生地(9:33)～刀掛ノ松(9:42/55)～劔山本宮鳥居(10:18/21)～劔山本宮(10:23/27)～▲劔山(10:33/44)～捲道分岐(11:05/07)～▲次郎笈〔昼食〕(11:50/12:30)～捲道分岐(12:59/13:07)～二度見展望台(13:13)～水場(13:22/27)～休憩所(13:36/41)～西島駅(13:49/58)～リフト下トンネル(14:25)～劔神社(14:35)～見ノ越駐車場(14:42)

快適に過ごした一夜の宿、ラ・フォーレつるぎを出発。

登山口のPから直の石段を登りつめると劔神社。本殿の右手から自然林の中を西島リフト駅へ。途中「私西秀俊大好き!」「ステキよねあの人」等とおしゃべりが続くうち50分程で西島到着。以前あった売店は閉じられていた。トイレ休憩を取り、劔山頂をめざす。通行止めになっている一の森への道は、幸いなことに行場前まで開放されており、刀掛ノ松から40分のピストンで今回山行の目玉、キレンゲショウマの美しい群落を見ることができた。「さわやかな 月光の花は 凜として 気高い」とか…まさしく!の感。劔山頂へは尾根道をとる。老若男女、次第に人が湧いてきた。小高く積まれたケルンとクサリの柵に囲まれて、一等三角点がドーンと鎮座する山頂は、対峙する次郎笈のササ原がみごとにやさしく、美しくひろがっている。刈り込まれたような緑の中の本道、アップダウンをくりかえして次郎笈へ。ゆったりと昼食、展望を楽しんだあとは、再びササ原の道をとってかえし、西島への分岐からは劔山西面をトラバースするように進む。トントンと高度を下げていき、名水といわれる湧水に出会う。甘くて冷たい巨石に守られて大劔神社の祠が見えていたが、下からかしわ手を打ってパスし欠礼した。モミヤツガの木の間に三嶺の山並みや祖谷の谷がみえかくれしはじめると、西島駅へは程なく到着し木製の鳥居からとび出した。登山口へは来た道を取り、無事帰って来ましたと、出発点の劔神社にお礼と報告。

ラ・フォーレつるぎに寄り、入浴、往復10時間以上の運転をして下さった3人のドライバーさん、少し目先が変わった楽しい山行を計画して下さいました。ありがとうございます。  
(記：村田)



## 室内例会だより

【日 時】2015年7月29日(水) 19:30~20:40 事務所

【出席者】藤井、田中悦、島崎、田中初、村田、林、辻、勝尾、藤本、杉村、  
高橋、玉越、的場、杉川、今井、亀高、亀井、船江、竹川、橋本

### 1. 山行案内

8月 8日(土)~9日(日) 例会山行2 四国の山(剣山) L 田中悦  
8月24日(月)~27日(木) 夏山山行 北アルプス(白馬~唐松岳) L 島崎

### 2. 山行報告

6月20日(土) 県連ハイクリーダー学校 ルート・ファインディング 高見山北尾根・黒石山  
L 中武講師(奈良労山) 5名

6月28日(日) 例会山行(夏山訓練山行)大峰の山(釈迦岳・孔雀岳) L 島崎 7名

7月12日(日) 自主山行 大峰の山《大所山(百合ヶ岳)》 L 亀高 4名

7月19日(日)~20日(月) 自主山行 日本三霊山(白山) L 杉川 3名

### 3. 連絡その他

#### ① 県連より

登山学校について(年4回開講)

第2回目岩登り講習会 金毘羅山(懸垂下降、トップロープクライミング)

座学8月27日(木) 実山行8月30日(日) 初心者の方でも参加できます。

参加希望者は、藤本さん迄。

#### ② テーピング講習会

7月4日(土) 開催された。参加者 亀井・高橋・林・今井 4名

#### ③ 遭難対策基金について(担当 都築)

前回と同じ口数で更新手続きする。次回室内例会にて掛け金を徴収する。

#### ④ 9月テント泊山行以下に変更(リーダー 藤本)

9月26日~27日(日) 白山 御前峰

#### ⑤ 当会岩稜訓練について

第一回7月26日実施された。参加者 島崎、辻、林、藤本、杉川、勝尾、  
今井、亀井、船江、橋本 (10名)(1名訓練中負傷 肋骨骨折)

第2回8月2日(日)を予定していたが、受講生が少ない為日程を変更し行  
う。大変有意義な訓練なので会としては出来るだけ参加してほしい。

今後のスケジュール変更及び確認

- ★ 8月22日(土) 13時～運営員会 14時30分～臨時総会・  
室内例会  
17時～暑気払い(於 八剣伝 会費3,000円)
- ★ 12月20日(日)室内例会・忘年会→12月23日(水)に変更

(記： 橋本)

## 西大和つうしん

第399号(2015年9月号)

2015年8月22日発行

発行責任者 島崎 隆

編集責任者 的場喜義

奈良県勤労者山岳連盟 西大和山の会  
〒636-0003 奈良県北葛城郡王寺町久度 1-9-32  
窪田友男方

TEL・FAX 0745-72-2876

<http://www.nishiyamatoyama.com/>